

一般会計・特別会計の補正予算概要

会計名	補正額	補正後の額	採決結果	
一般会計	12億5,755万円	798億6,867万円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険特別会計	4億1,207万円	31億2,890万円	〃
	後期高齢者医療特別会計	235万円	1億3,494万円	〃
	介護保険特別会計(事業勘定)	6,763万円	14億7,996万円	〃
	介護保険特別会計(サービス事業勘定)	121万円	434万円	〃
	簡易水道事業特別会計	1,967万円	8,254万円	〃
	漁業集落排水処理事業特別会計	586万円	1億4,674万円	〃
	公共下水道事業特別会計	342万円	2億3,468万円	〃

※一万円未満切り捨て

補正予算

一般会計補正当算は、12億5755万円を追加し、予算額を798億6867万円としました。補正の主な内容は、山田・織笠地区の防災集団移

転促進事業などの委託料3億3547万円や、山田・織笠地区の土地区画整理事業などの委託料1億6800万円、被災者住宅再建事業補助金2億4500万円などです。一般会計、特別会計の予算補正の概要は、次の表のとおりです。

主な質疑は、次のとおりです。

被災者住宅再建支援事業補助金

自主再建による補助金申請の件数は、

鈴木健康福祉課長 149件である。

災害公営住宅の整備戸数の調整は

アンケート調査により今年中に把握する災害公営住宅への入居希望者数に基づき、最終的な入居者数を確定するの。

阿部建設課長 災害公営住宅が建設されるまでの中間の年と、建設される年に再度アンケートを行い、建設戸数を調整する。

歩行者の安全確保が最優先

復興事業関係車両の往来が多く、道路の破損箇所が増えるの見込まれる。どのように対応するか。

阿部建設課長 各地区で道路の破損が多くなっている。連絡を受けてすぐに対応

応できる場合と、町から業者に指示する場合がある。歩行者の安全が最優先であるので、すぐ対応したい。

災害に備えて

田の浜地区災害用給水機能整備工事費の内容は、

倉本総務課主幹 田の浜コ

ミュニティセンターの敷地内に井戸を掘る。一人あたり一日10リットル、900人分で約10トンの給水を見込んでいます。

裁判を有利に進めるため、弁護士を増員

NPO問題に係る弁護士料を300万円増額する理由と内容は、

倉本総務課主幹 町の代理人である弁護士から、長期にわたり難しい裁判になる旨を当初から聞いています。裁判を有利に進めるため、一層強固な弁護団にしたい旨の申出が代理人からあり、弁護士1名の増員を決定した。

内容は、弁護士3人分の日当、諸経費、宿泊料、交通費である。9月から来年

3月までの7回分で、一人あたり計100万円としている。

風評被害対策

水産物消費者理解増進対策業務委託料の内容は、

甲斐谷水産商工課長 10月末に横浜市内2カ所で、力キやホタテを焼いて販売する。

ふる里山田同郷の会の協力をいただき、産地と消費地の交流を通じ放射性物質に対する消費者の不安を払拭し、販路の回復に取り組む。事業の一部を三陸やまだ漁協に委託する。



カキ、ホタテの販路回復が望まれます